

＜集団的かつ持続可能な支援体制の構築に積極的に取り組む事例＞

## ○ 棚田と水仙が出迎える海上集落<sup>かいしやう</sup>

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	山形県 <sup>ひがしおきたまぐんたかはたまち</sup> 東置賜郡高畠町 <sup>かいしやう</sup> 海上			
協定面積 17ha	田 (89%)	畑 (11%)	草地	採草放牧地
	水稲	ぶどう		
交付金額 241万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	役員活動費、体制整備活動費、積立、事務費		30%
		水路、農道等の維持・管理費		5%
		農用地の維持・管理費		15%
協定参加者	農業者 10人			開始：平成18年度

### 2. 取組に至る経緯

海上集落は、高畠町の南に位置し棚田がある景観の美しい地域である。

集落では、農業従事者の高齢化や後継者不足により、耕作放棄地が年を重ねるごとに拡大していく状況にあったことから、平成18年度に協定を締結し、棚田や優良農地を保全すること及び、住みよい生活環境の実現に向けて活動してきた。

第3期対策の協定締結に当たっては、山形県の農山漁村活性化プロ派遣事業を活用し、ワークショップによるマスタープラン「海上えがお花咲く物語」を作成し、集落が目指す将来像について再確認した。

### 3. 取組の内容

第3期対策の活動として、集団的かつ持続可能な体制整備に取り組むが、支援体制は協定参加者全員が協力し支援することとした。具体的には、耕起や代掻きなど基幹となる作業には主・副担当を決め、その他の作業については全員が分担し活動することとしている。

その他の活動として機械・農業の共同化にも取り組むが、今年度は共同化を進めていくための資料として協定参加者が所有している機械の一覧を作成した。



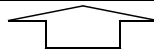
【水路・農道整備箇所の確認】



【水仙の植付作業】

**【集落の将来像】**

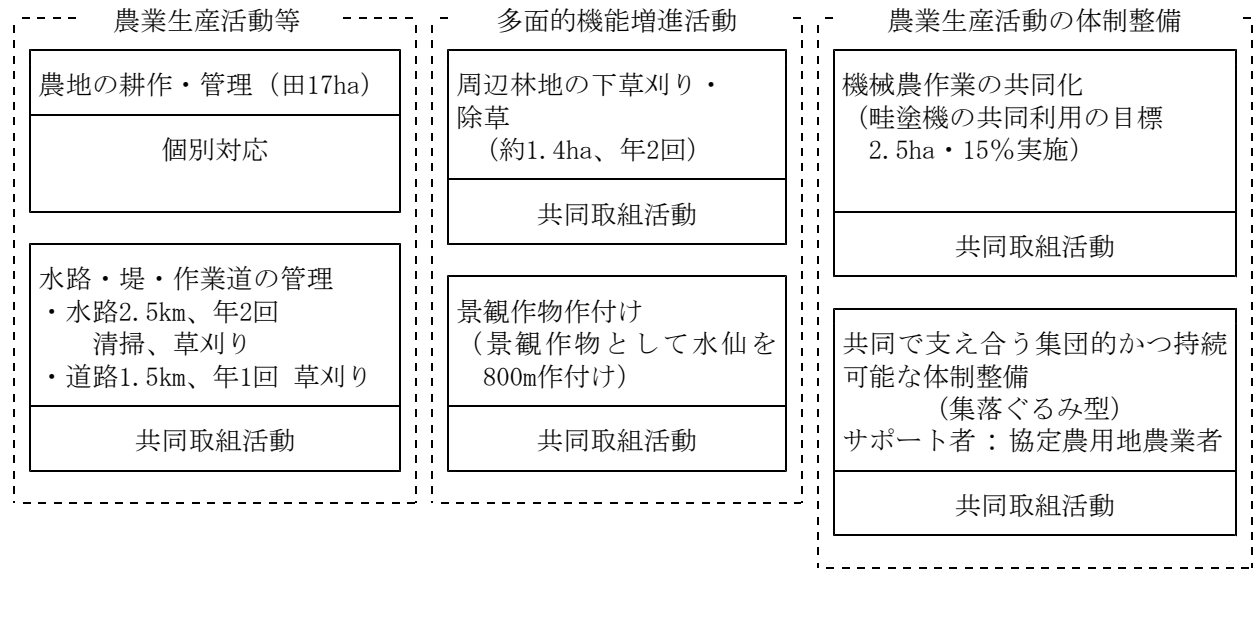
- 地域の実情に即した持続的な農業生産活動等の体制整備を図る。  
美しい棚田の景観を継続的に保全し、住み良い生活環境の実現を目指す。また、生産性・経済性を考慮し、集落内で残すべき優良農地を明確にして保全に努める。



**【将来像を実現するための活動目標】**

- 機械・農作業の共同化等営農組織の育成
- 共同で支え合う集団的かつ持続可能な体制整備

**【活動内容】**



**4. 今後の課題等**

マスタープラン作りは山形県の支援を受け、集落協定参加者全員で集落を見直すことから始め、意見を出し合い作成した。全員の意見が濃縮されたマスタープランが出来上がったことにより、5年後、10年後の目標達成に向け活動していきたい。

**【第2期対策の主な成果】**

- 農道の補修・改良の実施 (H17～H21 762 m)
- 水路の補修・改良の実施 (H17～H21 235 m)
- 耕作放棄地の整備 (H17～H21 14,000 m<sup>2</sup>)